



福岡市の財政は黒字を更新中! お金があるなら、ためこむよりも 市民の日々の暮らしにもっと税金を使うべき!

2023(令和5)年度決算



2023年度の国民の生活は…

- ・単独世帯は過去最多、全世帯の34.0%と割合も過去最大
- ・児童のいる世帯は過去最少、全世帯の18.1%と割合も過去最小
- ・1世帯あたり年間平均所得金額は524.2万円の前年比21.5万円も減少
- ・生活意識が「苦しい」とした世帯は59.6%と上昇し、全体の約6割に増加

「2023(令和5)年度 国民生活基礎調査の結果」厚生労働省

今までに経験したことがない社会に突入しています

円安、物価高への影響はもとより、他国への援助金、防衛費の拡充によって(不要な!)増税が検討され、私たちの暮らしは二重に圧迫されつつあります。



誰一人取り残さない社会、ウェルビーイングな社会の実現を!

誰かだけ、どこかだけが利益を享受するなんてもってのほか! 住民の暮らしを肌身に感じる地方自治体だからこそ、市政の家計簿である「決算」のいわばレシートを、きちんと吟味することが議員としての役割。

- 福岡市の2023年度一般会計は実質収支約94億円の黒字。特別会計も黒字、基金への積み立て等もあり、もっと住民の福祉の充実、物価対策等に活用すべきではないでしょうか。
 - ① 子ども・若者への支援。大学生や専門学校の学生への支援、子ども食堂など困窮者支援の民間団体への支援、医療費の無償化。保育園の副食費、学校給食の無償化への取り組み。
 - ② 格差是正への支援。上下水道料金の減免、医療や介護の負担軽減など、市民生活への直接支援。
 - ③ 人にやさしい働き方への改善、仕組みづくり。会計年度任用職員の処遇改善。
 - ④ グリーンインフラの本格的な推進。環境保全への取り組みと啓発。
 - ⑤ 食の安心・安全への支援と啓発。農地と農業者を守り、第一次産業振興への支援。



戦争の訓練をしている場合ではなく、気候危機、食料危機への対策を!

「戦争の準備をすれば、そこが戦場になる」・・・自衛隊の博多港の特定利用港湾指定承認の撤回を求めます。

- 2023年2月28日、福岡市の「海の中道海浜公園」で、航空自衛隊のミサイル防衛のための「地対空誘導弾 PAC-3」展開訓練を実施。さらに福岡市は博多港の特定利用港湾指定(4月1日)を、議会にも諮らず市民にも知らせず承認。市長は未だ説明責任を果たさず。
- 戦争の訓練準備より、日々の暮らしのために税金を使うべき。また、マイナンバーへの一体化、ワクチン接種等にも多くの税金と人手がつかぎ込まれました。情報統制、個人情報紐づけ、管理監視社会。一部企業や誰かの利益を黙認する経済成長優先の財政から、「人優先」、子ども・若者、環境へ投資する財政に転換することを求めます。



議会中継動画 決算関係議案討論 森あやこ 10月9日
※福岡市議会ホームページより



希望を奪わない社会や環境を!